



多摩市



©2018 東京都多摩市

テレワーク対応シンククライアントパソコン の導入について

多摩市役所 企画政策部 情報政策課
令和3年7月30日

市では、新型コロナウイルス感染症の対策やウィズ・コロナ時代を見据えた新たな労務環境に対応したICT環境整備の一環として、テレワーク対応のシンククライアント端末を導入しました。

閉域SIMによるセキュアな通信回線、ネットワーク機器によるアクセス制御、端末にデータが保存されないシンククライアント端末により、テレワーク時にも、安全に業務が実施できる環境を構築し、庁内・庁外において従来のパソコン環境より生産性を高め、災害時における業務継続性の確保やさらなる働き方改革に取り組みます。

6月下旬に管理職以上約100名に配備が完了し、今年度中に一般職への展開を目標としています。

シンクライアント端末とは

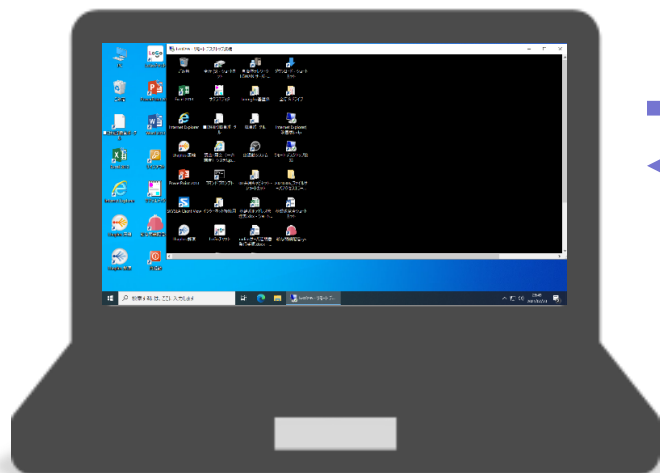


多摩市



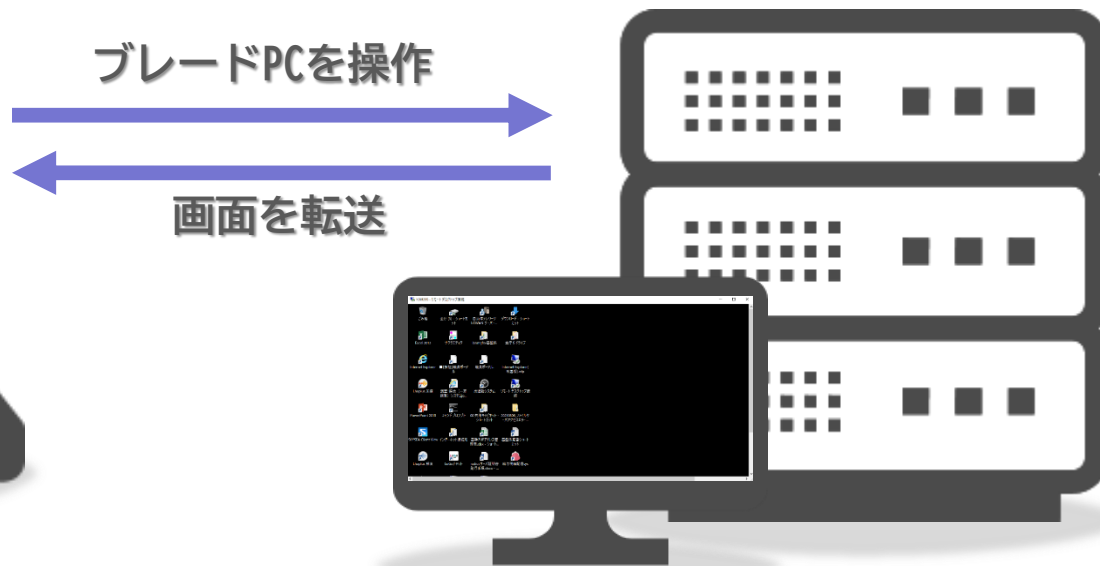
画面転送のみに機能を制限したパソコンのことです。機能が少ない（≒薄い）端末ということでThin(薄い)Client(端末)と呼ばれています。（以下、シンクラ端末）
閉域SIMの通信回線とネットワーク機器の制御、シンクラ端末によって、庁外においても安全に業務を実施できる環境を構築しました。

シンクライアント端末



キー入力・画面表示
データが保存されない

ブレードPC（データセンター設置）



アプリ・ソフトの実行
データの保存

業務継続性確保・働き方改革の進歩



多摩市



管理職・理事者（約100名）にシンクラ端末を配備しました。

シンクラ端末は庁内では無線LANにより、庁外では内蔵した閉域SIM回線により通信します。どこにでも持ち運びが可能になることから、会議のペーパーレス化や在宅勤務など、ウィズ・コロナの時代を見据えた労務環境を整備し災害時の業務継続性や働き方改革による生産性向上を目指します。

庁内

市役所

WiFi



業務用無線LAN



庁外への持ち出し



管理職・理事者
約100台



ペーパーレス会議

庁外



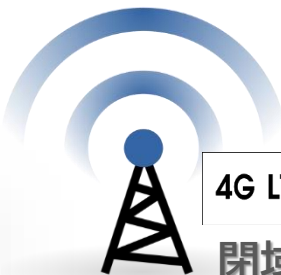
庁外での会議



災害時の
業務継続



在宅勤務



4G LTE

閉域SIM回線

今後の展開

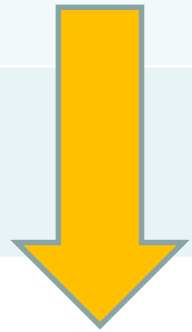


多摩市



一般職（係長以下）に対しても、貸出用としてシンクラ端末の運用を年度内の開始を目指します。

	理事者・管理職(約100名)	一般職(約600名)
令和3年6月中旬～	全員にシンクラ端末を配備	
令和3年7月	在宅勤務制度の試行運用開始	試行・実験的な利用を実施
令和3年度中		貸出機(100台)としてのシンクラ端末の試行運用を開始
実現する姿	管理職以上全員がいつでもテレワークができる環境	職員が希望すれば貸与を受けてテレワークができる環境



- ・行政として生産性の向上
- ・職員としてワークライフバランスの向上
- ・市民として受けるサービスの質の向上

を目指します。